

平成 16 年 度

平成 16 年 4 月 1 日から平成 17 年 3 月 31 日

事 業 報 告 書
収 支 計 算 書

社団法人日本バックグラウンド・ミュージック協会

平成16年度事業報告

自平成16年4月1日 至平成17年3月31日

1. 総務委員会

総務委員会では、平成16年度の主要検討課題に 理事定数変更 名称変更 入会条件の緩和 の3つを設定した。理事定数変更については、文化庁より協会規模に比して理事数が多いとの指摘を受けていたことと、協会運営のスリム化、効率化を考慮した上で減員を実施することとなった。減員数は、会員選出理事2名減、学識理事2名減、計4名減で、現行20名から16名とすることとなった。新規定は、平成17年度役員改選から適用とする。名称変更は、昨年度に実施した会員社へのアンケートを参考にしながら、協会内外の状況も踏まえ、前向きに取り組んでいくこととなった。入会条件の緩和については、これまで増収プロジェクトが行っていた会員拡大のための時限的な入会条件の緩和を、近年の経済情勢などに鑑み、正式な規定とするもの。これにより、正会員の入会にあたって入会金が免除になり、推薦社が2社であったのが1社となった。この決定にのっとり、これらを規定する定款内規を変更した。また、協会の業容拡大という視点から、会員獲得による拡大だけでなく著作権処理、名称変更等も含めて総体的な対策を考えるため、著作権対策特別委員会と増収プロジェクトを総務委員会と合同する案が提示され、平成17年度事業計画より実施することとなった。

これら3点の他、基本金の増額が決定した。これについては、平成10年より文化庁より協会運営の基盤強化を目的に基本金の増額を求められたため積み立てを実施してきたが、そのうち300万円を正式に基本金に積み増し、800万円から1,100万円とし、年度末をもって実施した。

定時総会の開催 / 第37回 (6月8日)・第38回 (17年3月8日)

理事会の開催 / 第58回 (5月11日)・臨時 (9月2日)・第59回 (17年2月8日)

理事懇談会の開催 (12月7日)

常任理事会の開催 / 第1回 (7月6日)・第2回 (10月5日)・第3回 (12月7日)・第4回 (17年1月25日)

懇親レセプションの開催 (6月8日)

平成15年度事業報告、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録の作成

平成16年度事業計画、収支予算書作成

平成16年度会員名簿の発行

文化庁への各種届け出

ブロック会議の助成 / 北陸・信越地区 (9月1日)

2. 広報委員会

広報委員会では、TONE²通信・BGM協会報の発行、BGM協会セミナーの開催、ホームページの管理など、継続事業を滞りなく実施した。その中で、特に TONE²通信とホームページの改訂について検討を重ねた。TONE²通信については、協会活動報告の他に、協会の持つテーマを意識した取材による情報提供、会員社の情報紹介などの強化を図るためにコーナーを設けるとともに、小委員会を中心とした編集会議の運営にブログを導入することを検討した。また、発刊から7年を経て情報量も増えてきたため、デザイン・レイアウトの変更を計画、テスト版

を発行した（Vol.42～）。ホームページは、これまでセミナーなどの協会主催事業の案内、資料発行案内などが中心となり、更新の少ないものであったため、アクセス数の増加を図るため、改訂を検討した。TONE²通信に掲載されているエッセイ、会員社の動向を紹介するページを増やし、全体としてビジュアルなデザインを考慮することとした。また、研究開発委員会のデータベース事業と連動して、協会収蔵資料のホームページ上での公開について検討した。

BGM協会セミナーの開催

第14回BGM協会セミナー 16年7月16日（金） 午後2時30分～5時 海運クラブ303号室

『商業空間におけるBGMに対する人々の意識調査～横浜・元町における事例から～』

(株)情報ニューラルネットワーク研究所代表取締役 中畑裕氏 氏

『空気が変われば商業空間が変わる～空気を变える音・BGMの役割～』

(株)ジオ・アカマツ常務取締役、博多リバレイン・イニミニマニモ館長 東宮照男氏

第15回BGM協会セミナー 16年11月19日（金） 午後2時～5時 海運クラブ303号室

『IT時代のコンテンツ・ビジネスとマーケティング』

松下電器産業(株)システム創造研究所プロデュース部長 堀口利治氏

『音楽配信の動向と国内普及の可能性』

(株)シード・プランニング取締役主任研究員 原 健二氏

BGM協会報の発行

Vol.19 『空気が変われば商業空間が変わる～空気を变える音・BGMの役割～』

(株)ジオ・アカマツ常務取締役、博多リバレイン・イニミニマニモ館長 東宮照男氏

TONE²通信の発行

Vol.37（4月）・Vol.38（6月）・Vol.39（8月）・Vol.40（10月）・Vol.41（12月）・Vol.42（17年2月）

ホームページのメンテナンス

協会刊行物案内掲載

セミナー案内掲載

情報公開更新 他

協賛・後援

ジャパンショップ2005（17年3月1日～4日 日本経済新聞社・店舗システム協会主催 於東京ビッグサイト）に名義協賛

3. 研究開発委員会

平成16年度の研究助成事業に2点の応募があった。査読委員会における検討の結果、助成の対象と認定し、助成金を贈り、提出論文を当協会JBA資料として発行した（JBA資料36・37）。また、研究助成事業の募集については、公募形式は今年度限りとし、来年度の募集形式は学識理事も交えて検討することとした。

市場調査事業は「勤労者とBGM」をテーマに、ワークエリアにおけるBGMの効果測定のための設備設計成功及び予備実験、設問設定、現地調査をシナノケンシ上田工場で行った。その結果は、次年度にJBA資料として発行する。

データベースについては、既存資料の整理や新たな資料の収集方法について検討、またホー

ムページ上での公開方法については広報委員会と連動して具体的な方法検討した。

研究助成（研究調査事業）

『食事環境下における長期受動的BGM聴取による気分状態の変化と摂取栄養の改善に関する実験的研究』

松本和興氏（聖徳大学人文学部生活文化学科）坂本真理氏（同学同学部音楽文化学科）江原史朗氏（宇都宮工業高等専門学校制御情報工学科）畑沙織（聖徳大学人文学部生活文化学科）村井靖児（同学同学部音楽文化学科）

『マーケティング戦略として発展するBGMと中小企業における使用の現状』

立正大学経済学部経済学科磯貝ゼミナールグループA

市場調査事業

『勤労者と音楽 シナノケンシ上田工場におけるBGM聴取実験とその効果』

JBA資料の制作・発行

JBA資料36（ - 参照）

4. 増収プロジェクト

総務委員会との合同を視野に入れ、会員拡大を中心とした増収案を検討した。その結果、これまで会員増強キャンペーンとして実施してきた入会条件の緩和を、正式に定款内規変更として規定し、今後とも会員拡大を図っていくこととした（総務委員会の項参照）。会員拡大については、乙種正会員での入会希望（1社）をプロモートし、第59回理事会において入会が承認された（平成17年4月1日より正式入会）。

入会条件の緩和（定款内規変更を含む）

総務委員会との合同

乙種正会員1社入会

5. 著作権対策特別委員会

著作権対策特別委員会は、演奏権の管理（対象契約件数・ステッカー配布数の把握）を事務局に委託している。今年度は、インターネットを用いた業務用配信の取り扱いについて社団法人日本音楽著作権協会と折衝を重ね、平成15年10月締結の基本合意について運用面での調整を行った。この合意に基づき、業務用BGM配信の実施会員社については、JASRACと個別契約を行うこととした。また、今後の課題としては、これまでの著作権処理を円滑に進めていくほか、著作権隣接権の検討が協会として必須になるため、これを開始することとした。

「インターネットを用いた業務用配信の取り扱い」の社団法人日本音楽著作権協会との折衝・運用

演奏権の管理

著作権隣接権の検討

6. 研究開発基金運営プロジェクト

「環境音楽2005」の平成17年10月6日実施に向けて作業を開始した。出演者を決定、コンセプトをまとめるとともに、制作側・協会側とのスケジュールを調整した。また、全国からの会員社の参加を見込み、「環境音楽2005」の翌日はBGM協会セミナーを行うことで広報委員会と合意した。

「環境音楽2005」の企画制作

日時：平成17年10月6日（木）

会場：青山草月ホール（東京）

演奏：ブルース・スターク（pf）、崔岩光（sp）、ジョン・海山ネプチューン（尺八） 他

講演：ピーター・バラカン

制作：OFFICE S・O・G・A（曾我傑）

会員社数（平成17年3月31日現在）

正会員45社（甲種正会員6社、乙種正会員39社）、賛助会員6社

会員社合計51社

増減：ゼロ

会員社社名変更

（新）オーピチューン(株)

（旧）エフエムアメリカ(株)

（新）(株)エスオーケイビジョン

（旧）(株)エスオーケイ

協会代表変更（敬称略）

ビクターアークス(株)

（新）代表取締役社長 水野康隆

（前）代表取締役社長 平木行雄

(株)ABCメディアコム

（新）代表取締役社長 倉田 光

（前）代表取締役社長 坂井佳行

(株)IBC開発センター

（新）代表取締役社長 川代広司

（前）代表取締役社長 阿部正樹

南海放送音響照明(株)

（新）常務取締役 門田恒充

（前）代表取締役社長 金子宏太郎

(株)KBCメディア (新)代表取締役社長 小嶋良太
(前)代表取締役社長 川西 到
(株)RKKメディアプランニング (新)代表取締役社長 岡山鐵生
(前)代表取締役社長 浅山弘康
松下電器産業(株)パナソニックシステムソリューションズ社
(新)ブロードメディア本部サウンドシステム事業センター長 田沢 真
(前)AV&セキュリティビジネスエグゼクティブグループマネージャー 羽山孝弘
日本ビクター(株)システム営業本部 (新)営業部部長 北川幸一
(前)営業部部長 山内昭夫

役員の変更(敬称略)

< 理事交替 >

(新)ビクターアークス(株) 代表取締役社長 水野康隆
(前)ビクターアークス(株) 代表取締役社長 平木行雄
(新)(株)ABCメディアコム 代表取締役社長 倉田 光
(前)(株)ABCメディアコム 代表取締役社長 坂井佳行
(新)RKKメディアプランニング 代表取締役社長 岡山鐵生
(前)RKKメディアプランニング 代表取締役社長 浅山弘康

平成16年度役員一覧(平成17年3月31日現在 敬称略)

会 長	泉山中三	東海大学名誉教授
	副 会 長	西平宏太郎 東洋メディアリンクス(株) 代表取締役社長
常任理事	池羽伸美	日本レディフュージョン(株) 代表取締役社長
	田中保生	(株)音映システム 代表取締役社長
	速水彰夫	(株)ニッポン放送プロジェクト 代表取締役社長
	水野康隆	ビクターアークス(株) 代表取締役社長
理 事	一ノ瀬 博	(株)毎日映像音響システム 常務取締役
	上原和夫	大阪芸術大学教授・作曲家
	小川博司	関西大学教授
	太田 護	新潟放送興業(株) 代表取締役社長
	岡山鐵生	(株)RKKメディアプランニング 代表取締役社長
	倉田 光	(株)ABCメディアコム 代表取締役社長
	曾根敏夫	秋田県立大学教授・東北大学名誉教授・工学博士
	村井靖児	聖徳大学教授・医学博士
	門間陽子	岐阜県音楽療法研究所所長・音楽療法士
	山下篤男	(株)西日本音楽映像 代表取締役社長
	山下充康	(財)小林理学研究所理事長・工学博士
	横溝亮一	音楽評論家・プロデューサー
	吉田登美男	拓殖大学名誉教授・工学博士・文学博士

監 事 若尾 裕 神戸大学教授
新井省三 新井会計事務所・税理士
佐々木 正 佐々木正事務所・公認会計士
理事20名（内会長1名、副会長1名、常任理事4名）、監事2名 計22名

主 要 会 議 ・ 主 要 事 項 ・ 記 録
自平成16年4月1日 至平成17年3月31日

科目・日時・場所	摘 要
<p>(総 会)</p> <p>第37回定時総会 平成16年6月8日(火) 海運クラブ303号室</p> <p>第38回定時総会 平成17年3月8日(火) 海運クラブ304号室</p>	<p>下記議案審議可決</p> <p>第1号議案 平成15年度事業報告並びに収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録承認の件</p> <p>第2号議案 特別会員選任の件</p> <p>報告事項 * 監査報告 * 異動報告 * 退任功労者報告</p> <p>下記議案審議可決</p> <p>第1号議案 平成17年度事業計画案並びに収支予算案承認の件</p> <p>第2号議案 理事定数変更承認の件</p> <p>第3号議案 入会条件緩和承認の件</p> <p>第4号議案 「定款内規」並びに「入会承認の手続き及び承認の基準」変更承認の件</p> <p>第5号議案 基本財産増額承認の件</p> <p>報告事項 * 新入会員社紹介 * 平成17年度主要会議スケジュール案 * 各委員会活動報告</p>
<p>(理 事 会)</p> <p>第58回理事会 平成16年5月11日(火) 海運クラブ302号室</p> <p>臨時理事会 平成16年9月2日(木) 海運クラブ201号室</p>	<p>下記議案審議可決</p> <p>第1号議案 平成15年度事業報告並びに収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録承認の件</p> <p>第2号議案 特別会員選任の件</p> <p>第3号議案 退任功労者への感謝状・記念品贈呈の件</p> <p>第4号議案 第37回定時総会開催の件</p> <p>報告事項 * 異動報告 * 各委員会活動報告</p> <p>下記議案審議可決</p> <p>第1号議案 理事辞任につき後任候補承認の件</p> <p>第2号議案 副会長、常任理事、委員長選任の件</p>

科目・日時・場所	摘 要
<p>第59回理事会 平成17年2月8日（火） 海運クラブ302号室</p>	<p>下記議案審議可決 第1号議案 平成17年度事業計画案並びに収支予算案承認の件 第2号議案 理事定数変更承認の件 第3号議案 入会条件緩和承認の件 第4号議案 「定款内規」並びに「入会承認の手続き及び承認の基準」変更承認の件 第5号議案 基本財産増減承認の件 第6号議案 特別会員選任の件 第7号議案 入会希望社入会承認の件 第8号議案 第38回定時総会開催の件 報告事項 * 各委員会活動報告</p>
<p>（ 常任理事会 ）</p> <p>第1回常任理事会 平成16年7月6日（火） 協会会議室</p> <p>第2回常任理事会 平成16年10月5日（火） 協会会議室</p> <p>第3回常任理事会 平成16年12月7日（火） 麹町会館珊瑚の間</p> <p>第4回常任理事会 平成17年1月25日（火） 協会会議室</p>	<p>下記議題審議報告 1．理事交代について 2．副会長交代について 3．常任理事について 4．臨時理事会招集について 5．事務所不動産について 6．会員社の増減について 7．今期事業の進捗について 8．その他</p> <p>下記議題審議報告 1．下記事業について 2．来期事業計画及び人事について 3．その他</p> <p>下記議題審議報告 1．協会名称変更について 2．理事選挙制度改訂について 3．平成17年度事業計画について</p> <p>下記議題審議報告 1．協会名称変更について 2．理事会選挙制度改革について 3．平成17年度事業計画案・予算案について</p>

科目・日時・場所	摘 要
	4．特別会員の推薦について 5．基本金の増額について 6．第59回理事会（2月8日）について 7．各委員会活動報告
（理事懇談会） 理事懇談会 平成16年12月7日（火） 麹町会館珊瑚の間	下記議題審議報告 1．協会名称変更について 2．選挙制度改訂について 3．平成17年度事業計画について 4．その他
（総務委員会） 第1回総務委員会 平成16年5月25日（火） 協会会議室	下記議題審議報告 1．平成15年度事業報告について 2．平成16年度事業計画・予算案について 3．その他
（広報委員会） 第1回広報委員会 平成16年7月16日（金） 海運クラブ302号室 第2回広報委員会 平成16年11月19日（金） 海運クラブ302号室	下記議題審議報告 1．「BGM協会セミナー」の計画について 2．データベースの公開運営について 3．ホームページの運営について 4．その他 下記議題審議報告 1．広報委員会の各事業計画について 2．当期事業の経過報告について 3．来期事業計画・予算について

科目・日時・場所	摘 要
広報コアチーム委員会 平成16年5月19日（水） 協会会議室	下記議題審議報告 1．平成15年度広報委員会事業報告について 2．平成16年度広報委員会事業計画案について 3．その他
セミナー小委員会 平成16年7月28日（水） 協会会議室	下記議題審議報告 1．秋季セミナーの実施について 2．その他
セミナー小委員会 平成16年8月31日（火） 協会会議室	下記議題審議報告 1．秋季セミナーについて 2．その他
（研究開発委員会） 第1回研究開発委員会 平成16年12月10日（金） 東洋メディアリンクス(株) 会議室 第2回研究開発委員会 平成17年2月4日（金） 東洋メディアリンクス(株) 会議室 第3回研究開発委員会 平成17年3月4日（金） 東洋メディアリンクス(株) 会議室 研究開発コアチーム委員会 平成16年6月3日（木） 東洋メディアリンクス(株) 会議室	下記議題審議報告 1．研究助成事業について 2．市場調査事業について 3．データベース事業について 4．その他 下記議題審議報告 1．研究助成事業について 2．市場調査事業について 3．データベース事業について 4．その他 下記議題審議報告 1．研究助成事業経過報告 2．市場調査事業経過報告 3．データベース事業経過報告 4．その他 下記議題審議報告 1．研究助成事業経過報告 2．市場調査事業の具体化について 3．その他

科目・日時・場所	摘 要
(増収プロジェクト)	(今期は開催せず)
<p>(著作権対策特別委員会)</p> <p>著作権対策コアチーム委員会 平成16年6月23日(水) 協会会議室</p> <p>著作権対策特別委員会・JAS RAC会議 平成16年4月7日(水) JASRAC会議室</p> <p>著作権対策特別委員会・JAS RAC会議 平成16年5月12日(水) JASRAC会議室</p> <p>著作権対策特別委員会・JAS RAC会議 平成16年6月16日(水) JASRAC会議室</p> <p>著作権対策特別委員会・JAS RAC会議 平成16年9月8日(水) JASRAC会議室</p>	<p>下記議題審議報告 1. JASRAC送信部に提出する要望内容について</p> <p>下記議題審議報告 1. インターネットを用いた業務用BGM配信の取り扱いにつ て</p> <p>下記議題審議報告 1. インターネットを用いた業務用BGM配信の取り扱いにつ て</p> <p>下記議題審議報告 1. JASRAC送信部への要望書提出について</p> <p>下記議題審議報告 1. 業務用音楽配信の取り扱いについて</p>
<p>(研究開発基金運営プロジ ェクト)</p> <p>第3回環境音楽2005実行委員 会 平成16年7月27日(火) 東洋メディアリンクス(株)会議 室</p>	<p>下記議題審議報告 1. 当事業の趣旨について 2. 予算について</p>

科目・日時・場所	摘 要
<p>第4回環境音楽2005実行委員会 平成16年9月3日(金) 東洋メディアリンクス(株)会議室</p>	<p>下記議題審議報告 1. 開催の概要について 2. 作業項目について 3. スケジュールの策定について 4. その他</p>
<p>第5回環境音楽2005実行委員会 平成16年10月1日(金)東洋メディアリンクス(株)会議室</p>	<p>下記議題審議報告 1. 開催の概要について 2. 作業項目について 3. スケジュールの策定について 4. その他</p>
<p>第6回環境音楽2005実行委員会 平成16年10月29日(金) 東洋メディアリンクス(株)会議室</p>	<p>下記議題審議報告 1. 開催の概要について 2. 作業項目について 3. スケジュールの策定について 4. その他</p>
<p>第7回環境音楽2005実行委員会 平成17年3月4日(金) 東洋メディアリンクス(株)会議室</p>	<p>下記議題審議報告 1. 開催の概要について 2. 作業スケジュールについて 3. 広報委員会セミナーとの連動について 4. その他</p>
<p>(ブロック会議) 北陸・信越地区ブロック会議 平成16年9月1日(水) とやま自遊館</p>	<p>下記議題審議報告 1. 協会データベースの構成と利用について 2. 協会研究・市場調査事業について 3. 各社近況報告 4. その他</p>

科目・日時・場所	摘 要
<p>(セミナー)</p> <p>第14回 BGM協会セミナー 平成16年7月16日(金) 海運クラブ303号室</p> <p>第15回 BGM協会セミナー 平成16年11月19日(金) 海運クラブ303号室</p>	<p>テーマ：商業空間の賑わいと音・BGM 『商業空間におけるBGMに対する人々の意識調査～横浜・元町における事例から～』 (株)情報ニューラルネットワーク研究所代表取締役社長 中畑裕氏’ 『空気が変われば商業空間が変わる～空気を変える音・BGMの役割～』 (株)ジオ・アカマツ常務取締役、博多リバレイン・イニミニマ ニモ館長 東宮照男</p> <p>テーマ：音楽配信ビジネスとその周辺 『IT時代のコンテンツ・ビジネスとマーケティング』 松下電器産業(株)システム創造研究所プロデュース部長 堀口利治 『音楽配信の動向と国内普及の可能性』 (株)シード・プランニング取締役主任研究員 原 健二 (以上、広報委員会)</p>
<p>(発行)</p> <p>事業報告・計画</p> <p>名簿</p> <p>BGM協会報</p>	<p>平成15年度事業報告書・収支計算書 平成16年度事業計画書・収支予算書 (総務委員会)</p> <p>平成16年度会員名簿 (総務委員会)</p> <p>Vol.19 『空気が変われば商業空間が変わる～空気を変える音・BGMの役割～』 (株)ジオ・アカマツ常務取締役、博多リバレイン・イニミニマ ニモ館長 東宮照男 Vol.20 『IT時代のコンテンツ・ビジネスとマーケティング』 松下電器産業(株)システム創造研究所プロデュース部長 堀口利治 Vol.21 『音楽配信の動向と国内普及の可能性』 (株)シード・プランニング取締役主任研究員 原 健二 (以上、広報委員会)</p>

科目・日時・場所	摘 要
<p>TONE²通信</p> <p>JBA資料</p>	<p>Vol.37 / 4月 Vol.38 / 6月 Vol.39 / 8月 Vol.40 / 10月 Vol.41 / 12月 Vol.42 / 平成17年2月 (広報委員会)</p> <p>JBA資料36 『長期受動的BGM聴取と摂取栄養の改善』 聖徳大学 松本和興・坂本真理・江原史朗・畑沙織・ 村井靖児 (以上、研究開発委員会)</p>
<p>(協賛・後援)</p> <p>協賛</p>	<p>ジャパンショップ2005(平成17年3月1日～4日) 日本経済新聞社・店舗システム協会主催 (広報委員会)</p>
<p>(各種届)</p> <p>登記</p> <p>文化庁</p>	<p>資産総額変更登記(10月) 役員変更登記(10月)</p> <p>平成15年度事業報告・決算届(9月) 平成17年度事業計画・予算届(平成17年3月) 資産総額・役員変更登記完了届(11月) 役員登記変更完了届(11月)</p> <p>公益法人現状調査 公益法人概況調査 公益法人株式保有状況調査 公益法人ホームページ開設状況調査</p> <p style="text-align: right;">} (12月)</p>

一般会計収支計算書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

(単位：円)

1. 収支計算の部

(1) 収入の部

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
1 基本財産運用収入	20,000	4,168	15,832	
2 会費収入	19,416,000	19,296,000	120,000	
正会員会費収入(甲)	5,760,000	5,760,000	0	96万×6社
同 (乙)	10,296,000	10,296,000	0	26.4万×39社
賛助会員会費収入	3,360,000	3,240,000	120,000	
3 セミナー等の収入	300,000	0	300,000	セミナー収入は特別会計に計上
4 雑収入	200,000	408,203	208,203	
5 特定預金積立取崩収入	0	3,000,040	3,000,040	研究・市場調査事業
6 諸引当金戻入収入	0	6,500,000	6,500,000	研究開発事業
当期収入合計(A)	19,936,000	29,208,411	9,272,411	
前期繰越収支差額	25,970,520	14,439,618	11,530,902	
収入合計(B)	45,906,520	43,648,029	2,258,491	

本年度より乙種会員(乙A)(乙B)を廃止し、(乙)とする。

(2) 支出の部

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
1 事業費	19,510,000	11,010,905	8,499,095	研究・市場調査事業引当金を除く
2 管理費	9,470,000	8,560,174	909,826	
3 積立金	100,000	3,100,026	3,000,026	基本金増額及び積立金支出
4 特定目的預金支出	0	4,000,000	4,000,000	研究・市場調査事業引当預金積立支出
5 予備費	2,000,000	0	2,000,000	
当期支出合計(C)	31,080,000	26,671,105	4,408,895	
当期収支差額(A) - (C)	11,144,000	2,537,306	13,681,306	
次期繰越収支差額(B) - (C)	14,826,520	16,976,924	2,150,404	

2. 支出の部明細

(1) 支出の部明細 その1(事業費支出)

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
事業費	19,510,000	11,010,905	8,499,095	
総務委員会	3,710,000	3,559,975	150,025	
広報委員会	2,700,000	2,640,842	59,158	
研究開発委員会	7,300,000	2,721,393	4,578,607	研究・市場調査事業引当金を除く
増収プロジェクト	580,000	475,000	105,000	
著作権対策特別委員会	1,200,000	981,324	218,676	
出版プロジェクト	0	0	0	
研究開発基金運営プロジェクト	4,020,000	632,371	3,387,629	環境音楽2005実施時期繰延による

(2) 支出の部明細 その2(事業費委員会及び特定目的預金支出支出明細)

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
総務委員会	3,710,000	3,559,975	150,025	
会議開催費	1,050,000	1,192,125	142,125	
名簿制作費	250,000	283,357	33,357	
委員会活動引当金	0	0	0	
規程整備費	0	0	0	
著作権情報センター会費	0	0	0	
その他	180,000	174,493	5,507	
職員事業担当経費	2,230,000	1,910,000	320,000	
広報委員会	2,700,000	2,640,842	59,158	
BGM協会セミナー開催費	520,000	730,889	210,889	
BGM協会報制作発行費	430,000	492,367	62,367	
TON E ² 通信制作発行費	300,000	227,148	72,852	
ホームページ運営費	300,000	169,000	131,000	
委員会運営費	50,000	71,438	21,438	
職員事業担当経費	1,100,000	950,000	150,000	
研究開発委員会	7,300,000	6,721,393	578,607	特定目的預金支出含む
研究助成費	1,200,000	925,214	274,786	
市場調査事業費	1,000,000	1,128,346	128,346	
JBA資料の制作費	0	0	0	
データベース整備費	450,000	96,461	353,539	
委員会運営費	100,000	71,372	28,628	
研究助成引当預金	3,000,000	3,000,000	0	特定目的預金支出
市場調査引当預金	1,000,000	1,000,000	0	特定目的預金支出
職員事業担当経費	550,000	500,000	50,000	

増収プロジェクト	580,000	475,000	105,000	
会員社への勧誘依頼	30,000	0	30,000	
職員事業担当経費	550,000	475,000	75,000	
著作権対策特別委員会	1,200,000	981,324	218,676	
委員会運営費	50,000	6,324	43,676	
著作権情報センター会費	50,000	50,000	0	
職員事業担当経費	1,100,000	925,000	175,000	
出版プロジェクト	0	0	0	
出版物の制作発行費	0	0	0	
編集会議運営費	0	0	0	
研究開発基金運営プロジェクト	4,020,000	632,371	3,387,629	
企画実施費	3,500,000	207,371	3,292,629	
研究開発事業引当預金	0	0	0	
職員事業担当経費	520,000	425,000	95,000	
事業費及び特定目的預金支出合計	19,510,000	15,010,905	4,499,095	
事業費但し特定目的預金支出を除く		11,010,905		

(3) 支出の部明細 その3 (管理費支出明細)

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
管理費	9,470,000	8,560,174	909,826	
給料手当	3,000,000	3,000,000	0	
福利厚生費	880,000	880,155	155	
会議費	600,000	405,790	194,210	
臨時雇賃金	40,000	109,285	69,285	
旅費交通費	270,000	299,980	29,980	
通信運搬費	280,000	151,599	128,401	
消耗什器備品費	50,000	44,940	5,060	
消耗品費	80,000	90,984	10,984	
事務機器等賃借料	1,200,000	1,212,405	12,405	OA機器賃借料の科目名を改称
印刷製本費	50,000	33,600	16,400	
賃借料	2,160,000	1,620,000	540,000	事務所賃借料の科目名を改称
光熱水料費	190,000	162,573	27,427	
保険料	20,000	0	20,000	
諸謝金	350,000	333,160	16,840	支払手数料から科目変更
租税公課	80,000	73,100	6,900	
雑費	220,000	142,603	77,397	

特別会計収支計算書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

(単位：円)

1. 収支計算の部

(1) 収入の部

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
1 事業収入	0	395,940	395,940	
セミナー収入	0	324,000	324,000	
刊行物収入	0	71,940	71,940	
当期収入合計(A)	0	395,940	395,940	
前期繰越収支差額	0	1,090	1,090	
収入合計(B)	0	394,850	394,850	

(2) 支出の部

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
1 事業費支出	0	9,895	9,895	
2 管理費支出	0	540,000	540,000	
当期支出合計(C)	0	549,895	549,895	
当期収支差額(A) - (C)	0	153,955	153,955	
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	155,045	155,045	

収支計算書総括表
平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

(単位：円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計	予算額
・収入の部				
1 基本財産運用収入	4,168	4,168	0	20,000
2 会費収入	19,296,000	19,296,000	0	19,416,000
3 事業収入	395,940	0	395,940	300,000
4 雑収入	408,203	408,203	0	200,000
5 特定預金取崩金	3,000,040	3,000,040	0	0
6 諸引当金戻入収入	6,500,000	6,500,000	0	0
当期収入合計 (A)	29,604,351	29,208,411	395,940	19,936,000
前期繰越収支差額	14,438,528	14,439,618	1,090	25,970,520
収入合計 (B)	44,042,879	43,648,029	394,850	45,906,520
・支出の部				
1 事業費	11,020,800	11,010,905	9,895	19,510,000
2 管理費	9,100,174	8,560,174	540,000	9,470,000
3 基本金繰入支出	3,100,026	3,100,026	0	100,000
4 特定目的預金支出	4,000,000	4,000,000	0	0
5 予備費	0	0	0	2,000,000
当期支出合計 (C)	27,221,000	26,671,105	549,895	31,080,000
当期収支差額 (A) - (C)	2,383,351	2,537,306	153,955	11,144,000
次期繰越収支差額 (B) - (C)	16,821,879	16,976,924	155,045	14,826,520

正味財産増減計算書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

(単位：円)

項 目	金 額	
. 増加の部		
当期収支差額	2,537,306	
基本金積立増加額	3,000,000	
当期積立金増加額	100,026	
研究調査等引当預金額	4,000,000	
資 産 増 加 額 合 計		9,637,332
. 減少の部		
資産減少額	0	
基本金積立金取崩額	3,000,040	
資 産 減 少 額 合 計		3,000,040
当期正味財産増減額		6,637,292
前期繰越正味財産額		26,513,232
期 末 正 味 財 産 額		33,150,524

貸借対照表

平成17年3月31日現在

(単位：円)

項 目	金 額	
・資産の部		
1. 流動資産		
現金及び預金	16,353,923	
未収会費	1,758,000	
前払費用	180,000	
流動資産合計		18,291,923
2. 固定資産		
基本財産		
定期預金	11,000,000	
その他の固定資産		
基本金積立金	300,000	
電話加入権	153,600	
敷金	720,000	
研究調査等引当預金	4,000,000	
固定資産合計		16,173,600
資 産 合 計		34,465,523
・負債の部		
1. 流動負債		
預り金	165,204	
未払金	1,238,840	
前受金	66,000	
流動負債合計		1,470,044
負 債 合 計		1,470,044
・正味財産の部		
1. 正味財産		32,995,479
2. 負債及び正味財産合計		34,465,523

財 産 目 録
平成17年3月31日現在

(単位：円)

項 目	金 額		
・資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金			
現金	461,461		
普通預金(東京三菱銀行麹町支店)	3,052,107		
普通預金(東京三菱銀行麹町支店)	10,840,355		
普通預金(みずほ銀行麹町支店)	0		
通知預金(東京三菱銀行麹町支店)	2,000,000		
未収会費	1,758,000		
未収金	0		
前払費用	180,000		
流動資産合計		18,291,923	
2. 固定資産			
基本財産			
定期預金(東京三菱銀行麹町支店)	8,000,000		
定期預金(みずほ銀行麹町支店)	3,000,000		
その他の固定資産			
積立金(東京三菱銀行麹町支店)	300,000		
電話加入権	153,600		
敷金	720,000		
研究調査等引当預金(東京三菱銀行麹町支店)	4,000,000		
固定資産合計		16,173,600	
資 産 合 計			34,465,523
・負債の部			
1. 流動負債			
預り金	165,204		
未払金	1,238,840		
前受金	66,000		
流動負債合計		1,470,044	
負 債 合 計			1,470,044
差 引 正 味 財 産			32,995,479
負債及び正味財産合計			34,465,523

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金（普通預金・通知預金）、未収会費、前払費用、預り金及び未

払金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記3に記載する通りである。

(2) 消費税等の会計処理について

消費税の会計処理については、税込み方式である。

(3) 借入限度額等について

長期借入金、短期借入金はない。

2 基本財産の増減額及び残高は、次の通りである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	8,000,000	3,000,000	0	11,000,000
合計	8,000,000	3,000,000	0	11,000,000

3 次期繰越収支差額の内容は次の通りである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期末残高	差 額
現金及び預金	22,769,640	16,353,923	6,415,717
未収会費	1,302,720	1,758,000	455,280
前払費用	180,000	180,000	0
合計	24,252,360	18,291,923	5,960,437
預り金	340,852	165,204	175,648
未払金	2,972,980	1,238,840	1,734,140
前受金	0	66,000	66,000
委員会活動引当金	3,000,000	0	3,000,000
研究開発事業引当金	3,500,000	0	3,500,000
合計	9,813,832	1,470,044	8,343,788
次期繰越収支差額	14,438,528	16,821,879	2,383,351

監査報告書

社団法人日本バックグラウンド・ミュージック協会
会長 泉山中三殿

平成 17 年 5 月 13 日

社団法人日本バックグラウンド・ミュージック協会

監事 新井省三 印

監事 佐々木正 印

平成 16 年 4 月 1 日から平成 17 年 3 月 31 日までの平成 16 年度収支計算書、貸借対照表、財産目録、会計帳簿並びに関係書類を監査した結果、公益法人会計基準に準拠しており、適法正確であると認めます。また、理事の業務執行状況に関して、不正な行為、法令または定款に違反する事実は認められませんでした。

以上